



特集 | 総合型クラブとボランティア

総合型クラブを支えるボランティア

同じ思いを共有することでボランティアが増加

NPO法人しんじ湖スポーツクラブ

「NPO法人しんじ湖スポーツクラブ」は行政主導で設立したクラブでしたが、担当の職員が異動となった後は活動に四苦八苦した時期もありました。しかし、地域住民の皆さんの力が支えとなってクラブ運営が軌道に乗り始めました。現在、地域住民約40名で構成している5つの部会がクラブを運営しており、全員クラブ会員であり、ボランティアであります。まさにボランティアが支える総合型クラブの活動にスポットを当てました。

♂ キーポイント

- ◎生きがいとなるボランティア活動
- ◎仲間が仲間を呼び、人と人がつながる

1 | クラブの概要

少子高齢化や子どもの体力低下など様々な社会情勢の変化に対応していくため、町の専属職員が中心となって準備を進め平成14年3月にクラブが設立しました。そして、地域の子どもから高齢者まで、誰もがスポーツを楽しめる場を整え「健康づくり」や「生きがいづくり」「仲間づくり」を応援することを目的に活動を始めました。平成18年には法人格を取得し、地域の様々な団体と連携を取りながらスポーツを核とした町づくりを目指して活動を続けています。

2 | 同じ思いの共有でボランティアを増員

行政主導で設立したクラブは、町の職員が中心となって運営も行っていました。しかし、設立から2年後に職員が異動となり、残されたのが嘱託職員と臨時職員の2名でした。失敗も多く四苦八苦しながらの運営に、手を差し伸べてくださったのが地域の方々でした。元々、宍道町は総合型クラブが設立される前からスポーツが盛んで、町がボランティアの育成に力を入れようとしていました。そして、町が行うスポーツ行事にも協力的だったことから、「みんながスポーツを楽しめる場をつくろう！」という思いが人と人とを結び、たくさんの方がクラブに関わってくださるようになり、この方々が中心となり地域住民で構成した5つの部会によるクラブ運営が始まりました。

さらに県の委託事業「地域と連携した子どもの体力向上支援事業」で日頃からお世話になっている方々に声をかけ、この事業に賛同してくださる団体に集まっていただき運営委員会を立ち上げました。



また、宍道地区社会福祉協議会、健康センター、来待診療所、学校、地域ボランティアによるしんじ芝生育成会、おやじクラブ、キャンドル☆ナイトinしんじ実行委員会など、様々な団体とのコラボ事業と一緒に活動することで連携が深まり、運営も軌道に乗り自主運営の基盤ができつつあります。そして、「子どもたちの成長を手助けしよう」「イベントを通して、宍道町を一つにしよう」という思いを共有することでボランティアも増えています。

3 | 仲間が仲間を呼び様々な団体との連携にもつながる

地域住民約40名で構成している5つの部会がクラブを運営していますが、全員が会員でボランティアです。各部会で事業計画を立て事業を実施しているため、このスタイルを継続していくことでクラブを末永く運営していくことができると考えています。また定期イベントや事業を行うボランティアグループ「おやじクラブ」や「グリーンサポーターズ」は、地域の子どものために自ら集まったグループです。自分たちが地域の子どものために力になって、みんなが喜んでくれることを生きがいに活動し、仲間も増えています。また、地域の様々な団体と連携を取りながら町全体で行うイベント「キャンドルナイト」やクラブフェスタ「千人で1万個の紙ふぶきを飛ばそう」でのボランティアを募ったところ多数の団体からの協力を得ることができ、また地域の若者に声掛けしたところ仲間が仲間を呼び、ボランティアが増えていきました。このイベントでクラブの活動や思いが地域住民に知られ、理解されるきっかけとなったと考えています。今後も様々な団体と連携を取り、みんなの思いをカタチにしていきたいと思っています。



キャンドルナイトのヤングスタッフ



キャンドルナイトの告知



点火を楽しみに準備を進めるボランティア



子どもたちも楽しそうにキャンドルナイトに参加



クラブフェスタ「千人で1万個の紙ふぶきを飛ばそう」

4 | 今後の課題・展望

今後もこのような活動を続けていくために、地域になくはない団体となり、地域全体がスポーツや運動で「元気で活気のある町づくり」に貢献していきたいと思っています。そのために、運動をしていない年代、特に介護が必要になる前の年代に対する活動の場を提供し、介護を受けない生活が送れるように働きかけます。具体的には運動教室の充実、また、生きがいとなる活動の場を提供します。さらに、ボランティアの活動を通して、地域の子どもたちを地域のみんで育てていく仕組みを、ボランティア同士で創り出していく体制をつくりたいと考えています。そして、この活動が末永く続くよう事務局は人と人とを結ぶコーディネーターとして地域とともに歩いていきたいと思っています。

ボランティアの声

「子どもが外で伸び伸びと遊ぶ姿がみたい!」と、子どもたちに昔の遊びや自然の中での遊びを伝承するボランティアグループ「おやじクラブ」のおやじいさん(森脇喜将さん/79歳)の声をご紹介します。

「クラブが事業のボランティアを探していた時に、力を貸して欲しいと声を掛けられたのがボランティア活動を始めたきっかけです。子どもたちが話しかけてくれたり慕ってくれたりすることがうれしくて、自分でも役に立てることがあったらいつでも協力しようと思っています。ボランティアの魅了は、みんなが喜んでくれること、ボランティアスタッフみんなと一緒にプログラムを考えたりできること、この年で、若い人たちの仲間に入れてもらえることなどがあげられます。ですから、今ではボランティア活動で得られることすべてが自分の生きがいとなっています」



おやじクラブ「どうぶあそび塾 竹水鉄砲を作ろう!」

クラブプロフィール

- 設立：平成14年3月21日(法人格取得 平成18年7月3日(NPO法人登記)
現在、仮認定NPO申請中
- 所在地：島根県松江市宍道町
- 運営：会員803名(平成26年度)、予算規模3,466万円(平成27年度)

特徴：地域住民で構成した5つの部会によってクラブを運営しています。人と人がつながり、一人一人が役割を持ち、企画運営するクラブです。そして、子どもから高齢者まで誰もが好きなことを楽しみ、みんなの笑顔が輝くスポーツを核とした町づくりを行っています。

連絡先：〒699-0406 島根県松江市宍道町佐々布204-4

TEL：0852-66-8686 FAX：0852-66-1414

E-mail：sports-shinji.no1@violin.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://shinjiko.lets-sports.net/shinjiko-top.html>